

「ふるさとホーム 美里」 (美里町) にて公演 (第94回)

7月28日(日) 10:30~11:30 今日はIさんが都合悪く、5人での訪問となりました。美里町の遺跡の森のふもとに位置し、広い田園の中にあつた。

ふる里ホームグループ特有の建物と窓、ここへは2年前に訪問し、久々の訪問公演となりました。大規模とは言えませんがアットホーム的な所で、職員さんも含め、総勢40名弱の、比較的元気な皆さんでした。



今日は施設の「夏祭り」ということで、我々の公演の前に、「地元の「美里民謡踊りの会」の皆さん20名ほどの女性陣が踊りを披露されました。

熊谷座の公演が始まると、脇で手拍子・掛け声など賑やかにかけて頂き、全体が大きく盛り上がりました。

いつも通りまずは、「南京玉すだれの基本」 珍しく座長の玉すだれが、ひっかかり戻らず、ご愛敬でした。



続いて、自己紹介、今日も「皿回し」をしながらの自己紹介で、皆さんの興味を引くことができました。

3番目の出し物は、水戸黄門の主題歌「ああ人生に涙あり」。最後のポーズ、富士山と印籠”この紋所が目に入らぬか！”も決まりました。



次は「きよしのズンドコ節」。曲の途中は順調でしたが、最後の決めポーズで(今回初めての型)でしたが、打合せ不足で、左右バラバラになってしまいました。

…反省…



玉すだれ締めめの曲は「麦畑」。

最後はいつもバッチリ！！大拍手！！





引き続いての「マジック」、新ネタの「つながるリング」「消えるハンカチ」「凍るロープ」「消える水」など、ドタバタしながらも一応(?)成功しました。



最後の出し物は、Nさんコンビによるオカリナ演奏。1曲目は「翼をください」CDによる伴奏があるため後ろの方々まで、良く聞こえたようです。

続いて中田喜直メドレーで「早春賦」、「夏の思い出」、「小さい秋みつけた」、「雪のふる街を」の4曲を演奏しました。



施設利用の方々も演奏中、歌詞を口ずさんだり、身体を揺らしたり、楽しんでおられたようです。また踊り公演に参加された女性陣も脇でオカリナの音にすっかり魅了されていました。



一連の公演が終わり、「触れ合いタイム」では玉すだれに触れて頂き、ずしりとした重さに驚き、すだれの不思議な動きに目を見張りながら、阿弥陀様を作って、写真に納まっていました。

一方職員の方や「美里民謡踊りの会」の方々からは、「皿回し」をやって見たいの声もあり、皿回しに挑戦して頂きました。若手職員の中にはすぐにお皿を回せた方もありましたが、ほとんど方は苦戦されたようでした。

帰りには、施設からお弁当を頂き、近くの「遺跡の森資料館」にて、頂いたお弁当を食べ、今日も感謝して帰路につきました。

カップ入りのちらし寿司



記： 加藤 治朗
写真： 中山 陽子